

ななむら

第65号
発行：照来地区公民館
責任者：館長
☎ 92-1738

令和2年11月1日現在
世帯数 532世帯
人口 1,486人
(男689人、女797人)

照来の小さな文化祭「作品展示会」を開催しました！



11月14日(土)と11月15日(日)の2日間、照来地区公民館において、照来の小さな文化祭『作品展示会』を開催しました。今年も照来小学校の児童から出展いただいたこともあり、80人の方から175点出展をいただきました。本当に感謝です。照来小学校の児童、先生方に。出展いただいた皆さんに。無理をいって当日出展していただいた方に。そしてスタッフの皆さんに。心からお礼申し上げます。

すばらしい作品ばかりで、感動いたしました。

また、2日間で97人の方にご来館いただきました。このコロナ禍の中、来られないのではと心配しましたが、大変多くの方にお越しいただきありがとうございました。

この2日間で良かったことは、何と言っても沢山の方とお話しができたことです。大変貴重なご意見もいただきましたし、今後の公民館活動を推進していく上で大変良い機会だったと思います。

「歌や踊りを披露する場もあつたらええなあ。芝居も。」といった意見や照来盆地の写真を観ながら「このすばらしい風景を色んなところに紹介したほうがいい。」といった意見もありました。



よのちまた
おもちゃ展

「昔の子ども遊び道具展」

我々が子どもの頃、夢中になって作った遊び道具を展示してみました。今の子どもたちに、昔はこんな道具を作って遊んでいたことを知ってもらおうと展示しましたが、来館した子どもたちが非常に少なく、毎晩徹夜して作った努力が水の泡に・・・.



したら私と同世代の皆さんが、「昔、こんなよう作って遊んだなあ」と言っているのが聞こえ、やっぱり努力は報われると思えました。

大変いい提案をいただきました

中辻の方からお手紙をいただきました。
大変うれしいことが書かれてありました。

皆さん、姫路にある「照来塗料株式会社」という会社をご存知ですか？照来出身の方が経営している会社なのですが、「照来」という名前を使っておられます。何故なのかわかりませんが、故郷への思いが強いのかな・・・。

彼が、この会社へ「照来地区公民館だより」を送っていただいていたようで、本当にありがとうございました。感謝したいと思います。

私も以前、塩山出身者に「広報しおやま」を送る計画を立てたことがありましたが、同じことを考えている人がいることを知って、また挑戦したくなりました。

10年後、20年後を見たときに、間違いなく人口は減り、超高齢化社会になっています。そうしたときに、照来出身者の方に故郷へ帰ってもらえたらいいのかなと思っています。そのためには、今から照来の情報を発信して、照来の良さを再認識してもらえたらと考えます。

「野菜づくり講座」を開催

10月29日（木）照来地区公民館において、JAたじま温泉営農生活センターの西口直樹さんを講師にお迎えし「野菜づくり講座」を開催しました。

30名という大変多くの方に参加をいただきました。

聞いてみると、「初めて参加しました。」という方が多くおられ、とてもいい傾向だと感じたところです。今後もこうした方々が増えてくれることを願っています。

先日、「初心者だから参加しにくい。」といった意見をいただきましたが、そんなことはありません！初心者の方は来ています。（私も初心者です。）是非参加ください。

講座は、主に玉ネギとパレイシヨの栽培管理について学びましたが、皆さん熱心に受講されていて、質問もたくさんありました。去年は、玉ネギのトウ立ちが多くみられたようですが、冬が暖かいと、苗が想像以上に大きく育ちトウ立ちするそうです。対策としては、適正な苗を選ぶことと肥料を切らさないことだそうです。



蓄音機を寄贈していただきました！

多子の岸根利幸さんから蓄音機を寄贈していただきました。さすがにレコードは聴けないうらと思っていましたら聴けました。照来地区公民館に保管してありますので、公民館に来られた際にはご覧ください。



照来の歴史⑱ 桐岡 『平野古墳（平野大墓）』

『平野のひのきはらに、約七十三平方メートルの広さに五輪の塔がある。今から千五百年ほど前に、このあたりを支配した人の墓で、ひどい取り立てをしたため、農民に殺されたものだと伝えられている。』（但馬・温泉町の民話と伝説より）

『桐岡の東字平野にある。碑石は高さ6尺、幅4尺あり。碑面に「浄土大禅門」と刻んである。口碑によれば、天正年間山名氏の配属中村氏なる人がこの地を領し、近傍を支配していたが、その政治ははなはだ過酷であったので、民衆の襲うところとなり、遂に自刃したという。』（照来考より）

この平野古墳は、たじま農協照来店前の交差点を多子方面に少し行った左手の森にあります。

この古墳は、石積みをもつ方形基壇（520cm×460cm）と宝篋印塔（高さ117.7cm）から成り、基壇の中には石室（84cm×60cm）があります。昭和61年に調査が行なわれましたが、石室の中から遺物は全く出土しなかったそうです。

照来考には中村氏の墓としか書かれていませんが、年代的に見て多子の「下津谷城」を築城した「中村和泉守」ではないかと思われます。（私の想像です）

昭和61年調査当時の平野古墳

